

SNSによる交友関係の変化 について

22011302本田啓斗

研究の背景

スマートフォンやインターネットの普及により多くの人がSNSを利用しており、オンライン上で何かを伝えることが増えている。

SNSでは写真や動画を投稿し多くの人に何かを伝えることができたり、文字で相手と会話をすることができる。そのため、直接対面で話すことや電話をすることなどとは違い意味がうまく伝わらないことがあると感じたからである。

研究の目的

SNSで見ることが出来る写真や動画から閲覧者が感じることや、電話や対面での会話と違い文字だけで行う会話のためお互いに意味が伝わりづらいことから、SNSによって交友関係にどのような変化があるか研究をする。

先行研究の分析

先行研究では高校生の友人関係の取り方がSNSネガティブ経験に繋がることを友人関係に基づいて書かれたものを見た。友人と心を打ち明けて付き合う関係においてえつつ論議した。友人と心を打ち明けてつきあう関係においてはSNS利用がネガティブ経験につながらないこと、傷つけあうことを回避しようとする傾向が強い場合に、SNSネガティブ経験が増大することが研究結果であった。

このことからSNSは友人関係にネガティブな印象やダメージを与える可能性があることが分かった

高校生の友人関係とSNS利用に伴うネガティブ経験（中山満子：奈良女子大学 文学部）

研究の方法

- 紙媒体、グーグルフォームでアンケートを取る
- 体験談など記述式の質問も入れる

調査内容

今後の課題

- ・ アンケート結果をまとめてそこから様々な発見をする
- ・ アンケートから結果から予想されることをまとめる